

兵庫連盟ベンチャースカウト大会
(ベンチャーひょうご2009)

基本実施要領

兵庫県姫路市家島町西島
兵庫県立いえしま自然体験センター
平成21年8月2日(日)～8月7日(金)

日本ボーイスカウト兵庫連盟

目 次

第1章	開催の趣旨	1
第2章	名 称	1
第3章	テーマ	1
第4章	主催・後援	1
1)	主 催	1
2)	後 援	1
第5章	会場の地理的条件	1
1)	会 場	2
2)	会場の背景	2
3)	アクセス	2
第6章	開催期間	2
1)	期 間	2
2)	参加者の入・退場	2
第7章	参加者・参加資格	2
1)	参加者	2
2)	参加資格	2
第8章	参加費	3
1)	参加費	3
2)	参加費の使途	3
第9章	参加章と入場許可	3
1)	参加章	3
第10章	参加の申し込み	3
1)	参加申し込み	3
第11章	到着手続き	3
1)	参加スカウト	3
2)	隊指導者及び本部要員	4
第12章	組織と運営	4
1)	運営組織	4
2)	水軍の区分	4
3)	プログラム参加	4

4)	本部要員の任務.....	5
5)	連絡・調整.....	6
第13章 大会本部が用意する諸設備.....		6
1)	設営地.....	6
2)	本部施設.....	6
3)	炊事用燃料.....	6
第14章 プログラム.....		6
1)	プログラムの基本.....	6
2)	標準日程.....	7
第15章 服装と携行品.....		7
1)	服装.....	7
第16章 配給.....		7
1)	食糧の配給.....	7
2)	燃料.....	7
3)	給水.....	7
第17章 輸送.....		8
1)	輸送の方法.....	8
2)	交通の案内.....	8
第18章 通信.....		8
1)	郵便.....	8
2)	電話.....	8
第19章 保健および救護衛生.....		8
1)	個人衛生.....	8
2)	救護所.....	8
3)	救護処置の範囲と治療.....	9
4)	環境衛生.....	9
5)	ごみの処理.....	9
6)	洗剤の使用.....	9
第20章 緊急時の措置.....		9
1)	方針.....	9
2)	情報の収集.....	9
3)	退避の発動.....	9
4)	緊急時の本部要員の任務.....	9

第1章 開催の趣旨

新型インフルエンザに屈することなくスカウティングの新しい世紀の始まりをめざす兵庫のベンチャースカウトは、ワイルドで力強さに満ち溢れた自然体験活動や、奉仕活動を通じた活動はとりわけ重要な教育手段となります。

姫路港開港50周年—みなとが播磨の未来—記念事業の一翼を担い、もって兵庫のベンチャー活動の元気アップと活性化を期することとします。

兵庫連盟60周年のプレ大会として開催。ベンチャースカウト、ローバースカウトの意気を示す場とする。

第2章 名称

兵庫連盟ベンチャースカウト大会（ベンチャーひょうご2009）

第3章 テーマ

“ Do Venture!! — 行脚 — ”
「 冒険の旅に出よう！ 」

この野営で培う「冒険心、忍耐力、集中力、創意工夫、互助の信頼」がこのキャンプの成果であり、「ちかい」・「おきて」に照らし合わせたときの目的とも合致するものです。

参加したスカウト、指導者が感動の中で新たなる目標を胸に秘めて、最終日は県下各地に大いなる希望に満ちて散ってゆく状況をつくりたい。

第4章 主催・後援

1) 主催

日本ボーイスカウト兵庫連盟

2) 後援

兵庫県(予定)

公益財団法人兵庫県青少年本部(予定)

財団法人兵庫県ボーイスカウト振興財団

第5章 会場の地理的条件

1) 会 場

兵庫県立いえしま自然体験センター

672-0100 兵庫県姫路市家島町西島

TEL:079-327-1508・1509 FAX:079-327-1461

URL:<http://www.shizen-ieshima.com>

2) 会場の背景

県立いえしま自然体験センターは、姫路港の約18kmに東西26.7km、南北18kmにわたって散在する家島群島中最大の西島は家島本島の南西部に位置し、西島の南東部にある自然豊かなエリアである。

3) アクセス

- ・ JR姫路駅・山陽電鉄姫路駅から市営バス「姫路港行き」約20分。
山陽電鉄飾磨駅下車、徒歩5分の「飾磨工業高校前」から市営バス「姫路港行き」約10分。
- ・ 姫路港から坊勢汽船「いえしま自然体験センター」行き、約35分。

第6章 開催期間

1) 期 間

平成21年8月2日(日)～8月7日(金) 5泊6日

2) 参加者の入・退場

- (1) 参加者は、8月2日(日)14時までに会場に到着、設営実施後、開会式に望む。
- (2) 退場は、8月7日(金)朝食後、直ちに撤営に取りかかり点検を受けた後、正午までに会場を退出する。

第7章 参加者・参加資格

1) 参加者

- 兵庫連盟に加盟登録しているベンチャースカウト約60名および本部要員として奉仕のローバースカウトおよび指導者

2) 参加資格

平成21年度加盟登録済みのスカウトおよび指導者

- (1) ベンチャースカウトは、参加時にベンチャー章以上で、身体強健であり、本大会の野営生活ならびにプログラムに耐えられると認められた者
- (2) ローバースカウト、各隊指導者、兵庫連盟の役員・職員
- (3) 兵庫連盟から委嘱された、各分野における専門家

第8章 参加費

1) 参加費

参加ベンチャースカウトは1名あたり30,000円とする。

本部要員として奉仕のローバースカウト、指導者は別途定める。

2) 参加費の使途

- (1) 8月2日の夕食から8月7日の昼食までの15食分の配給食材費
- (2) 参加章および配布資料
- (3) 会場の設備費、運営費、プログラム活動費
- (4) 姫路港からいえしま自然体験センターまでの往復の船賃
- (5) 会期中の会場内における救護および衛生費
- (6) 会期中の保険料他

※ 納入された参加費は、他の参加者に振り替えることができるが県連盟に納入された参加費の払い戻しはしない。

第9章 参加章と入場許可

1) 参加章

会場への入場は、参加章の着用者に限る。

- ① 参加者は参加章を右ポケットの中央に着用する。
- ② 入場許可は、基地本部の受付に申し出ることにより許可される。

第10章 参加の申し込み

1) 参加申し込み

- (1) 参加スカウトは、参加申込書を3部作成(コピー可)し、参加費振込受領証のコピーを添えて、平成21年6月30日までに兵庫連盟に提出する。
- (2) 兵庫連盟は参加申込書1部を控えとして保管し、受付処理後、残り2部を団に返送します。団は1部を保管し1部は参加スカウトが保管し、参加受付時に参加手続き用として提出する。
- (3) 兵庫連盟は参加申込処理後、参加章その他の必要物品および必要書類を各自に送付する。

第11章 到着手続き

1) 参加スカウト

参加スカウトは、8月2日(日)12:30までに姫路港で到着手続きを完了する。

- ① 申し込み名簿との照合

② 配布物品などの交付

2) 水軍指導者及び本部要員

水軍指導者及び本部要員は、8月1日(土)9:30までに姫路港に集合し、到着手続きを済ませたうえ、それぞれの担当業務につく。

第12章 組織と運営

《古来、瀬戸内の若者には、同じ年頃の若者が二人一組で離れ小島で生活をして己を磨く“ならわし”がありました。

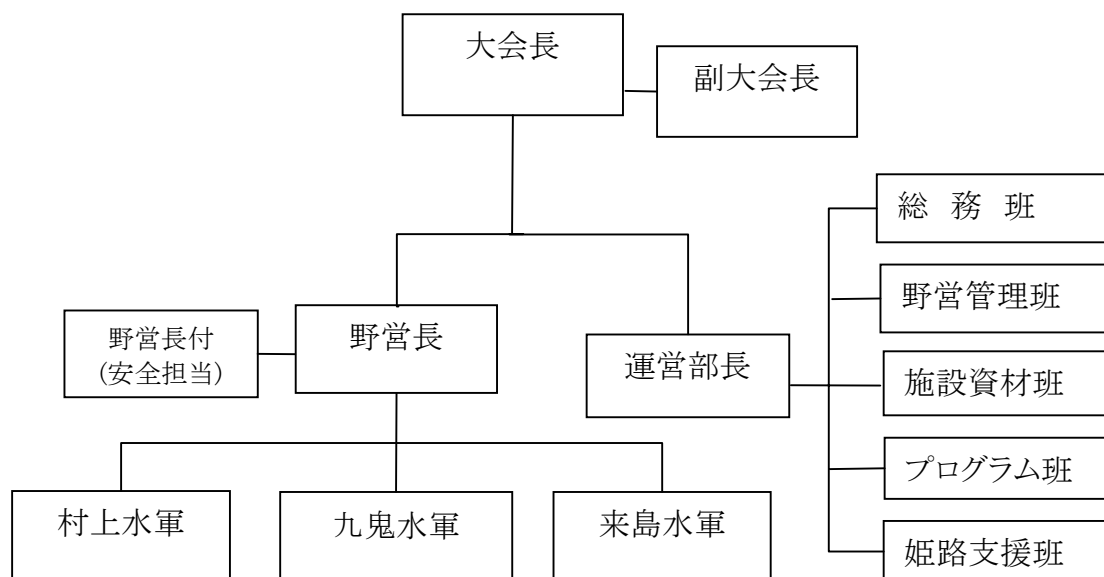
それに耐え、生きる力を備え帰ってきた者に、郷の長老が満月の夜「ちかいの祭り」を催して、勇者として認め、勲章を与えました。その“ならわし”を今に再現します。》

今回、県下から集う若者がこの冒険＝行脚に挑戦してくれます。6日間の挑戦ではあるが、使命を果たしてくれることを期待します。

1) 運営組織

野営大会の運営組織は次のとおりとする。

各SC(野営区の統括単位とする)は、野営大会の活動と運営の単位を構成し、野営本部長の統括の基に各水軍は自主的に本大会の活動を展開する。



2) 水軍の区分

次の各水軍は20名で構成する(1個班4名で5個班+指導者等)それぞれでサイトを設ける。

村上水軍 九鬼水軍 来島水軍

3) プログラム参加

各プログラムへは、水軍・班・バディ単位で参加する。

4) 本部要員の任務

本部要員の主要な任務は次のとおりであるが、簡素な組織を望むものである。

- 大会本部の運営の円滑な推進に関すること。
- 各業務の調整と管理に関すること。

(1) 総務班

- ① 参加者及び見学者の受付に関すること。
- ② 来賓の接遇に関すること。
- ③ 郵便物の受領・配送、文書の授受に関すること。
- ④ 大会期間中の資金の管理、金銭の出納に関すること。
- ⑤ 感謝状・記念品に関すること。
- ⑥ 広報の実施、報道記者に対する取材協力に関すること。
- ⑦ 記録の作成と報告書作成、記録写真の収集に関すること。
- ⑧ 参加者の輸送とその支援に関すること。
- ⑨ いえしま自然体験センターとの全体的な折衝に関すること。
- ⑨ その他各部に属さない業務に関すること。

(2) 野営管理班(救護衛生を含む)

- ① 参加者の統括管理に関すること。
- ② 生活の指導、規律安全の保持に関すること。
- ③ 設営、撤営についての指導に関すること。
- ④ 会場内の警備、火災、盗難の防止、遺失物の処理に関すること。
- ⑤ 救護衛生に関すること。
- ⑥ 本部救護所の設置と運営に関すること。
- ⑦ 会場内の消毒、害虫駆除に関すること。
- ⑧ 便所等の衛生管理に関すること。
- ⑨ ごみ処理の指導に関すること。

(3) 施設資材班

- ① 大会の施設の構築、維持管理、運営に関すること。
- ② 生活資材、プログラム資材の管理、調達に関すること。
- ③ いえしま自然体験センターからの資材の借用、返納に関すること。
- ④ 大会本部の資材輸送に関すること。
- ⑤ 大会本部・避難所の設置と維持管理に関すること。
- ⑥ 国旗掲揚およびステージなどの設営に関すること。
- ⑦ 参加者の献立作成に関すること。
- ⑧ 食糧、燃料の調達と配分に関すること。

(4) プログラム班

- ① プログラム(全体プログラム、活動チーム実施プログラム)の企画、運営、実施に関すること。
- ② プログラム実施に伴う安全に関すること。
- ③ 奉仕活動、信仰奨励、フォーラムに関すること。

- ④ 国旗掲揚・降納の実施に関すること。
- ⑤ 技能章取得の指導・アドバイスに関すること。

(5) 姫路支援班

5) 連絡・調整

- (1) 本部会議
毎日定時に連絡・調整会議を開催する。
- (2) 通常外(緊急時等)連絡調整
 - 各水軍は伝達が迅速に行われるよう担当者を定め連絡網を確立する。
 - 急を要する連絡は、大会本部より、適宜な方法をもって各水軍に伝達する。

第13章 大会本部が用意する諸設備

1) 設営地

大会本部は次の区分により、各水軍に設営地を割り当てる。

- スカウト設営地は、野営管理担当者を中心として割り当てる。
- 基地本部地域とプログラム会場

2) 本部施設

- (1) 大会会場、各種プログラム会場は既存の施設、自然の地勢を利用して使用する。
- (2) 本部救護所
- (3) その他

3) 炊事用燃料

参加者には、オガライトを支給する。

ただし、無人島でのサバイバルキャンプでは島内で薪を採取して使用する。

第14章 プログラム

1) プログラムの基本

本大会は、水軍活動の充実と班・バディ活動とともにスカウト仲間の交流を積極的に行うことにより成される。

- (1) 全体行事
開会式、宗教儀礼、ベンチャーフェスティバル、大営火、閉会式
- (2) 水軍活動
 - ・活動(規律の維持、班活動の充実、交流ほか)
 - ・班・バディ活動

2) 標準日程

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
	8月2日(日)	8月3日(月)	8月4日(火)	8月5日(水)	8月6日(木)	8月7日(金)
午前	入場開始	海プログラム	海プログラム	↓	↓	徹営・退場
午後	設 営	海プログラム	サバイバルキャンプ			↓
夜間	開会式	ベンチャー フォーラム	↓	↓	スカウトフェスティ バル・閉会式	

第15章 服装と携行品

1) 服 装

- (1) 参加者の服装は正装とし、制服の右ポケットに参加章を着用する。ID カード、健康保険証(写し)または被保険者証、健康調査書を携行する。
- (2) 開・閉会式、朝礼、宗教儀礼、その他の公式の場は正装とするが、活動のときおよび作業に従事するときは、それにふさわしい服装とすることができる。
- (3) 個人携行品、バディ・班携行品については、指示されたもののほかは参加者が自主的に判断し携行するものとする。

第16章 配 給

1) 食糧の配給

- (1) 食糧の配給は、8月2日(日)夕食分から8月7日(金)の昼食分までとする。
- (2) 配給食糧は、献立表により副食材料、調味料および間食とし、主食の米も配給する。
 - 標準献立表、配給日時等は別に示す。

2) 燃 料

- (1) 参加隊の炊事用燃料はオガライトを使用する。
ただし、無人島でのサバイバルキャンプでは島内で薪を採取して使用する。
- (2) 基地本部は、円滑な役務を遂行する上で必要な場合は、その限りではない。

3) 給 水

- (1) 給水は、既設の水道とする。
- (2) 無人島でのサバイバルキャンプでは搬入する飲料水以外は、できるだけ湧き水を活用する。
- (3) 水も限られた資源ですので使用については無駄のないように節水に努めること。

- (4) 島で使う水は、赤穂から海底送水管で送られてくる水道水です。
- (5) 保健衛生上から、生水は絶対に飲まない。煮沸の上飲料水とすること。

第17章 輸送

1) 輸送の方法

- (1) 参加者の荷物は、個人で責任をもって持参する。宅急便等での配送はできません。
- (2) 車を利用の場合、いえしま自然体験センターへは車の乗り入れはできません。姫路港周辺の有料駐車場を利用してください。

2) 交通の案内

- (1) JR姫路駅・山陽電鉄姫路駅から市営バス「姫路港行き」約20分。
山陽電鉄飾磨駅下車、徒歩5分の「飾磨工業高校前」から市営バス「姫路港行き」約10分。
- (2) 姫路港から坊勢汽船「いえしま自然体験センター」行き、約35分。
- (3) 定期航路での運航ではありません。事前に「いえしま自然体験センター」に予約が必要です。

第18章 通信

1) 郵便

郵便物は、大会期間中次の宛名で配達される。

〒656-2401 兵庫県姫路市家島町西島

ボーイスカウト兵庫連盟ベンチャースカウト野営大会 ○○水軍 氏名○○○○

電報も郵便物と同じ宛名で配達される。

2) 電話

大会期間中の連絡先は、いえしま自然体験センターとする。

(TEL:079-327-1508・1509 FAX:079-327-1461)

第19章 保健および救護衛生

1) 個人衛生

- (1) 参加者は、水軍指導者の指導のもとに保健衛生に十分留意する。
- (2) 大会本部が発行する健康調査書と健康保険証の写しまたは被保険者証を携行し、受診の際に提示する。

2) 救護所

参加者の救護は万全を期するため、8月2日12時より8月7日12時まで、救護所および医療施設を設置する。

- (1) 大会本部救護所(医師と看護要員)
- (2) いえしま自然体験センターが委託する病院、医院

3) 救護処置の範囲と治療

(1) 基地本部救護所の処置

- 応急処置を行い、いえしま自然体験センターの救護所に連絡し、医師の指示により処置・手配を決定する。
- いえしま自然体験センター担当者の判断・指示により外部の病院、または医院にその処置を委託する。この場合、治療費は本人が負担する。

4) 環境衛生

快適な野営生活をするため、便所その他の共同施設の使用は、使用者が汚さないように留意し、清潔にする。

決められた場所の清掃、消毒は各水軍が担当する。

5) ごみの処理

いえしま自然体験センターの区分によりごみ置き場に出す。

6) 洗剤の使用

きれいな海を守るため、島では合成洗剤を使用していません。備え付けの洗剤、石けん、シャンプーを使用する。

第20章 緊急時の措置

1) 方針

台風、豪雨、地震等の天災で、野営生活の維持が困難となり、かつ参加者の安全を図る必要が生じたときは大会長の決定に基づいて一時退避する。

2) 情報の収集

運営部長は、総務班とともに気象情報の収集に努め、台風、豪雨等の襲来を早期に予知するとともに、参加者に警告する。

3) 退避の発動

大会長の決定に基づき、退避について野営長が野営部長を通じて各水軍長に指示する。

(1) 収容計画

別に示す。

(2) 退避する際の行動基準

退避を指示された参加者は、キャンプサイトを時間の許す限り整理し、寝具、配給された食糧および個人携行品を取りまとめ、水軍長の指示に従って、所定の退避場所へ整然と移動する。

4) 緊急時の本部要員の任務

本部の緊急時の特定任務は別に定める。